

【研究主題に基づいた、手だて・発問等】算数編

段階	児童の活動	手だて・ 教師の発問例
つかむ	<p>【共有の場】</p> <p>（必要に応じて）前時の復習をする。</p> <p>問題を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> アンダーラインを引く ○で囲む <ul style="list-style-type: none"> 大事なところを書きぬく 図や表を示す <ul style="list-style-type: none"> 今までとの違いに目を向ける→課題を見つける（児童の言葉で課題を作る。） 	<p>手だて・ 教師の発問例</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて、既習の内容を振り返る <p>発問 これまでどんな学習をしてきましたか。</p> <p>発問 わかっていること、たずねていることは何ですか？</p> <p>発問 単位、大事な言葉は何でしょう？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○で囲んだところなど、問題でキーポイントになる数、言葉 教科書の図をテレビに映す、黒板に貼る、児童のノートに貼らせる、書かせる等 <p>発問 今までとちがうところはどこですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が出した言葉（今までとの違いの部分）をもとに、課題作りをする。 <p>課題は疑問形で！</p> <p>④ どうしたら～できるだろうか。どうやって～するとよいだろうか。どちらが～だろうか。</p>
見通す 考える	<p>【選択の場】個別最適な学びを保証する時間</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを書く。 	<p>ア：全体で見通しを持たせて（おおよその答えを検討させて。過去の計算方法を想起させて）</p> <p>発問 どうすれば（何を使えば、どこを考えれば）求められそうですか。 答えはどのくらいになりそうですか。</p> <p>イ：ブロック、絵、図、数直線、さくらんぼ計算、言葉を使って</p> <p>発問 図（数直線、さくらんぼ計算等学年の実態に応じて例を言う）を使って考えてみよう。</p> <p>ウ：ヒントを与える場を用意して（TVに映して、プリントを用意して、前に集めて）</p> <p>発問 ○○の数字は何のことですか？ 今まで○○はどうやって求めましたか？</p> <p>エ：机間指導で（低位の子と一緒に問題を解く、中位の子に言葉や図で説明させる、上位の子に他の考えを考えさせる。）</p>
解決する	<p>【共有の場】</p> <ul style="list-style-type: none"> 考えを発表する。 目的をもって話し合う。 <p>×発表会 （ペア、グループ、全体）</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>児童の考えの発表に対し、</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜ～？ どうして～？ それで、.. <p>と、接続語で返して考えを引き出す方法も活用</p> </div>	<p>ペアやグループで話し合う時（全体共有する前はアカイを意識して行わせる）</p> <p>ア：出し合う交流（自分が書いた自分の考えを伝え合う）</p> <p>イ：比べ合う交流（考えを比較し、共通点や相違点を見つける）</p> <p>ウ：高め合う交流（根拠を明確にして意見を述べ合う。）</p> <p>エ：磨き合う交流（学んだ知識や技能を使って行う。）</p> <p>自力解決で出た考えを全体で共有する時</p> <ul style="list-style-type: none"> * 「まず」「つぎに」「だから」等の接続詞を使って説明させる。 * 算数用語（あわせて、のこりは、○ずつ、等しくなる、○倍等）を使えるようにする。 <p>発問 ○○さんが書いてくれたことを説明してくれる人？（同一の考えの人に説明をさせる）</p> <p>発問 どうして○○と考えたのでしょうか？</p> <p>発問 ○○という数は何を表していますか？</p> <p>発問 ○○さんと同じ考えの人いますか？ 付け足しある人はいますか？</p> <p>発問 ○○さんは今まで習ったどの方法を使ったのでしょうか？</p> <p>発問 ○○さんと異なる（違う）考え方をした人はいますか？</p> <p>練り上げていく時</p> <p>〈それぞれの考えの良さを見つける〉</p> <p>発問 ○○さん考えのわかりやすいところ/いいところはどこですか？</p> <p>〈共通性を見つける〉</p> <p>発問 考えが○つありますが、同じように考えているところがありますか？</p> <p>発問 どれも使っている方法はありますか？</p> <p>発問 ○○さんの考えも、どのように見れば同じと考えられますか？</p> <p>発問 どういうとき、○○は使えそうですか？</p> <p>発問 今回大事なことは何だと思えますか？</p>
振り返る	<p>【振り返りを通して、今後に生かすために】</p> <ul style="list-style-type: none"> ノート、ワークシート、振り返りシートに書く。 考えを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> 適用問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> * 子どもの言葉をつなげて、まとめを書く。 *（高学年や、できる単元のときは） <p>法則や規則性等に関するまとめを書いた後、なぜなら、だから、そうすると、などの接続語を書き、まとめに繋がる文章を子どもたちに考えさせて書かせる。</p> <p>（どうしてまとめの法則や規則性になるのかや、だからどんな風に使えるかなどを問うと、理解が深まったり表現力が高まったりすると考えられる。）</p> <ul style="list-style-type: none"> 書かせたものはきちんと見て評価する。次時に生かす。 書いたもの、発表したことから理解度を分析し、足りないところを補足する。 <p>* 適用問題の後に振り返り、振り返りの後に適用問題はその都度実態に応じて行う。</p>